



THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2025年9月

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

EF・JEF (Endowment Fund, Japan Endowment)

CHARTERED IN

一主 題 NOVEMBER 21, 1955

国際会長

アジア会長

東日本区理事

北海道部部长

札幌クラブ会長

Faith, Love, Action

Act now with faith and love!

『ワイズのらしさ再発見』

Rediscovering Y's Uniqueness

「Well Being なワイズライフを」

「充実した人生を送るためのワイズ活動」

Edward Ong (シンガポール)

田上 正 (熊本むさし)

山下 真 (十勝)

柴田 伸俊 (札幌)

小野 健 (札幌)

札幌クラブ役員

会 長 小野 健

副会長 山崎 修

書 記 本宮 大輔

会 計 秋葉 聡志

直前会長 小野 健

「未来は、ずっと先にあるわけではありません。未来は、今にあるのです。
将来、実現したい何かがあるなら今、そのために行動しなければなりません。」

小野 健 選

巻頭言

羊蹄山違法伐採に思う

— 北海道民の想いと経済至上主義の葛藤 —

山崎 修

近年、羊蹄山周辺での違法伐採が社会問題となっています。その背後には、外資による大規模開発と、それを歓迎する経済至上主義の潮流が見え隠れしています。確かに、外資導入による投資や観光開発は地域経済に新たな光をもたらすものです。しかし、そこに生きてきた住民の営みや自然との共生の歩みは、急激な資本のスピードとは相容れないものがあります。

観光立国スイスも決して良い部分だけではありません。けれども、あの国の観光が根付いているのは、地元住民の暮らしと文化を土台にしているからです。北海道においても、一部の声の大きな人々の意見だけではなく、幅広い視点で未来を見据え、世代を超えて自信を持って引き継げる「未来会議」を今こそ開く必要があるのではないのでしょうか。

自由に土地を買えるニセコと、阿寒で前田一歩園財団が世代を超えて原生林を守り続けてきた歩み。この対比は、北海道がこれから進む道を考える上で大変示唆に富んでいます。経済成長と自然保護、外資導入と地元文化の尊重——この相反するものをどう調和させるかが、次の時代の私たちに課せられた大きな責務です。

羊蹄山の森をめぐる出来事は、単なる違法伐採の問題ではありません。北海道全体の未来像を考える試金石なのです。



札幌ワイズメンズクラブ 2025年9月例会

日時：2025年9月16日（火）18:30～20:30
会場：札幌 YMCA 101 教室＋リモート
会費：1,500 円

- | | | |
|---------------------|------|------|
| | 司会 | 山崎 修 |
| ① 開会点鐘 | 会長 | 小野 健 |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 | 全 員 | |
| ③ 今月の言葉・なぜこの言葉を | 山崎 修 | |
| ④ 開会あいさつ | 会長 | 小野 健 |
| ⑤ 誕生日 9 月 3 日 本宮 大輔 | | |
| 9 月 8 日 秋葉 聡志 | | |
| ⑥ 結婚記念日 なし | | |
| ⑦ 卓話 | | |

「アジアユースコンボケーション報告」

丸山啓太さん（東京Yリーダー・AIC 実行委員長）

風間奈月さん（山梨Yスタッフ）

- | | |
|----------------|-------|
| ⑧ 諸報告 | |
| ⑨ YMCA 報告 担当主事 | 北川 佳治 |
| ⑩ 今月の歌 | |

「さとうびき畑」

森山良子（1976） 北川 佳治 選

- | | | |
|--------|----|------|
| ⑪ 閉会点鐘 | 会長 | 小野 健 |
|--------|----|------|



札幌ワイズメンズクラブ 2025 年 7 月例会

日時：2025 年 7 月 22 日（火）18:30～20:30

場所：札幌 YMCA101 教室＋リモート

出席者：秋葉、小谷、小野、北川、柴田、伏木、
宮崎、本宮

ゲスト：池田航介さん

（株式会社 PermaFuture 代表取締役／北大院環境科学院修士課程）

出席者計 10 名

卓話テーマ：

「半農半 X 型農業ワーケーションによる

関係人口創出」

現在汝羊寮の寮生である池田航介さんは株式会社 PermaFuture 代表取締役を務めながら、北海道大学大学院環境科学院修士課程で学んでいます。

今回は、「半農半 X 型農業ワーケーションによる関係人口創出」というタイトルでご自身の事業である「ののの～NO 農 NOLIFE～」という農業ワーケーションサービスについてお話しいただきました。

「ののの」は、農業の人手不足という社会課題と、都市部に住む人々の農業への関心を結びつけるマッチングプラットフォームです。参加者は2週間までであれば滞在期間にかかわらず一律 7,000 円の参加費を支払い1日数時間（3～4 時間）の農作業を手伝うことで地域に滞在できるものです。農家は金銭的報酬を支払う必要がなく、代わりに宿泊場所と Wi-Fi 環境を提供します。

「半農半 X」の「X」は自由に過ごすことを意味しています。学生はオンライン授業、社会人はリモートワーク、観光や趣味など、個々の目的に合わせて時間を活用できることが特徴です。

このサービスは単なる労働力の提供に留まらず、参加者がその地域を好きになり、移住したり、「第二の故郷」のように感じたりするきっかけとなることを目指しています。

池田さん自身、大学時代に全国の農家を訪問した経験から、農業現場の人手不足や高齢化（平均年齢 68 歳）などの課題を実感していました。コロナ禍で大学の授業が全てオンライ

2025年7月例会

出席報告

在籍会員 12名

ゲスト 3名

出席者 7名

ビジター 0名

メネット 0名

出席者合計 10名

メーキアップ 0名

出席率 67%

ンになった際、長野のりんご農家からの要請を受け、「午前中に農作業、午後にオンライン授業」という形で学生を募ったところ、多くの人が集まったことからこのサービスの可能性を見出し、事業化するに至りました。

サービス開始から2年で、受け入れ農家は沖縄から北海道まで150件に達しました。特に北海道の農家が多く登録しています。また累計800人以上の方が参加しています。主な集客方法はInstagramで約6割がここから申し込まれます。そのため、参加者は20代の学生や転職活動中の若手社会人（3～5年目）が中心となっています。能登半島の農家が被災した際には、テント泊による「のののキャンプ」を実施し、農業と震災学習を組み合わせた復興支援プログラムも行っています。

当初は人手不足解決が目的でしたが、利用者の20%以上が移住を検討しており、「お試し移住」のプラットフォームとしての役割も果たしています。農家だけでなく、漁業や酪農も受け入れ対象としており、第一次産業全体での展開を目指しています。

今後は受け入れ農家と参加者の規模を拡大し、マッチングの精度を高めながら、都市から農村への新たな人の流れを創出し、第一次産業の活性化と関係人口・移住人口の創出に貢献することを目指しています。



何故この歌を 北川 佳治

終戦80年を迎えました。私達YMCAは、ミッシェンステートメントに、世界の平和を願い平和に向けた働きを持つことを謳っています。平和の尊さを忘れないようにとの願いが込められた、この歌を皆で歌いましょう。

何故このことばを！小野 健

ケニア出身の女性環境保護活動家で2004年にアフリカの女性として初めてノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさん（1940-2011）のことばです。彼女はグリーンベルト運動を通じてアフリカ全土で植林活動を行い、アフリカの民主化や持続可能な開発の推進、そして女性のエンパワーメント・地位向上に尽力した人です。日本との縁があり、2005年に京都議定書関連で来日したときに、日本語の「もったいない」という言葉を知り、「MOTTAINAI」を世界に広めました。

今年8月に横浜で9回目のアフリカ開発会議（TICAD9）が開催されました。トランプ政権によるUSAID（アメリカ国際開発庁）の事業停止もそうですし、日本も含めた各国の国際協力・支援がターニングポイントを迎えている感じがしています。そのようななか、紛争や貧困に苦しんでいるアフリカの中でマータイさんのように自分たちでアフリカ社会を良くしていくんだ、変えていくんだと頑張っている人たちも増えています。このような人たちをパートナーとして大事にしていきながら、アフリカの開発とより良い社会の実現に向けて私たちが何をすべきか、何ができるのかを常に考えて行動したいと思う今日この頃です。



北見リーダー研修参加報告

柴田 伸俊

北見 YMCA がキャンプリーダーの養成に動き出しています。市内の大学に呼び掛けリーダー希望者を募りました。応募の学生と面談し、活動の主旨を丁寧に説明し、2025 年 8 月 12 日（火）～13 日（水）にチミケップキャンプ場で実施体験を行いました。

6 名の学生を迎えてのキャンプ実施研修に北見クラブから二本松ワイズ、札幌クラブから柴田ワイズが参加し見学しました。初日は研修しながらネームタグ作り、お昼の焼肉を挟んでカヌー体験、夜はライトを片手にエビ釣り体験と色々趣向を凝らしていました。柴田夫婦が参加したのは丁度皆で一日を振り返っての感想をニックの通訳で話し合っていた時でした。

翌朝は前日練習したカヌーで対岸の滝まで冒険に出発。柴田夫妻は見送りました。

チミケップキャンプ場はリーダー養成も大きな課題です。待っているだけでは若者は寄ってきません。

積極的に、前向きに呼び掛けながらワイズがサポートできる方法を YMCA と一緒に考えていかなければならないなと思いました。来年もリーダー養成が継続的に行われる事を願いワイズも是非キャンプ場に足を運んでみましょう。



夜間のエビ釣り



カヌー体験



集合写真

YMCA ニュース 担当主事 北川 佳治



ヘルシーキッズキャンペーン

（キッズプログラム体験会）のお知らせ

9 月～10 月に札幌 YMCA キッズプログラムの体験キャンペーンを実施します。

アクアティックや体操などのウェルネスプログラム、英語やピアノ、プログラミングなどの文化教養プログラムをご用意しております。体験からご入会いただいた方には、キャンペーン特典をご用意しておりますので、是非この機会に YMCA をご紹介ください。プログラム詳細は、WEB をご参考ください。

お問い合わせ・お申し込み：札幌 YMCA（011-561-5217）



国際協力チャリティーイベントのご案内

来る 10 月 12 日（日）に札幌 YMCA 会館にてチャリティーフェスタを実施致します。コロナ禍後久々の飲食（外部キッチンカー）をご用意します。その他様々な企画（縁日コーナー、ビンゴ大会、体験型ゲーム、ダンス発表会など）を多数ご用意して皆様をお待ちしています。是非、ご家族皆様でお越しください！

尚、本イベントの益金は、主に、ベトナムの子ども達の教室建設費用に使用されます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

お問い合わせ・お申し込み：札幌 YMCA（011-561-5217）



2025-2026 年度 第 1 回北海道部評議会議事録

北海道部書記 伏木 康

日時：2025 年 8 月 23 日(土)18:00～19:30(ZOOM)

出席者：

【十勝クラブ】矢竹克年、山田敏明、中村義春、
赤松明彦(4 名)

【北見クラブ】二本松能敬、山田剛(2 名)

【札幌クラブ】小野健、柴田伸俊、秋葉聡志、
宮崎善昭、山崎修、小谷和雄、
安田文子、伏木康(7 名)計 13 名

【委任状】8 名

開会司会：書記 伏木康

1. 議決権者の確認

出席義務者 21 名中、出席者 13 名、委任状提出
者 8 名により、過半数を超え評議会は成立。

2. 議長選出

規約により柴田伸俊部長を選出した。

第 1 号議案 2024-25 年度北海道部会計決算報告

秋葉聡志会計より報告がされ、次いで小谷和雄監事
より監査報告がなされた。異議なく承認された。

第 2 号議案 2025-26 年度北海道部部長方針・活動計画

柴田伸俊部長より、説明があった。質疑の後、以下
の点を確認した。

- 1) 評議会の持ち方の「3 回の内 2 回を Zoom 会議とする」とする。
- 2) 4 月に予定されている次期会長研修会・第 2 回評議会の日程・会場は、18 日(土)または 25 日(土)とし、ホストの十勝クラブに一任する。

以上の他、文言を確認し、承認された。

第 3 号議案 2025-26 年度北海道部役員の内

柴田伸俊部長より、役員について以下の説明がなされた。

- 1) 部役員、部事業主査に新たにメネット連絡員として札幌クラブの安田文子メンに委嘱する。
- 2) 十勝クラブ書記に久保田和寿メンが就任する。

以上、異議なく承認された。

第 4 号議案 2025-26 年度北海道部会計予算案

秋葉聡志会計より、この件に関し配布資料に基づき説明がされた。以下の点が確認された。

- 1) 収入の北海道部費、CS 資金の積算根拠となる各クラブ登録人数は、7 月 1 日時点の半年報の数字が元になるので、今一度確認する。途中での人数変更があってもクラブの責任において収める。
- 2) リーダーズフォーラム支援金は今期より各クラブから直接東日本区への送金となるため、関連項目を収入、支出から除く。

以上を踏まえ修正案を作成し、再配信をもって承認することとした。

第 5 号議案 2025-26 年度北海道部会日程の件

柴田伸俊部長より説明がされ、以下が確認された。

- 1) 評議会は行わない前提でスケジュール化し、特別な必要議案が発生した場合は対応を検討する。
- 2) 開催時期の札幌市内のホテルは予約が取りづらく、宿泊料も高額のため、会場のプリンスホテルの部屋を確保できるよう札幌クラブで交渉する。

以上を確認し承認された。

第 6 号議案 2025-26 年度第 2 回評議会・

次期役員研修会の件

矢竹克年次期部長より、2026 年 4 月 18 日(土)または 4 月 25 日(土)のどちらかの日程で、会場を含め、2025 年 10 月 25 日の部会までに決定するとの説明があり、承認した。

第 7 号議案 2025-26 年度第 3 回評議会の件

柴田伸俊部長より説明があり、提案通り承認された。

第 8 号議案チミケップユースリーダー研修会補助の件 (追加議案)

柴田伸俊部長より、この件に関し、2025 年 8 月 12 日にチミケップキャンプ場で開催されたユースリーダー研修会に 1 万円を援助したい旨の提案があり、予算修正案を作成することで承認された。

以上

札幌クラブ 2025 年 8 月事務会報告

書記代行 秋葉 聡志

日 時： 2025 年 8 月 26 日（火）19:00～20:20
場 所： 札幌 YMCA 総主事室＋オンライン
出席者： 【対面】秋葉・小谷・宮崎 【オンライン】小野（長）・伏木・安田

1. 9 月号ブリテンについて

原稿執筆担当者、ブリテン編集担当（仮）などを資料に基づき協議、決定

2. 9 月例会について

日時：2025 年 9 月 16 日（火）18 時 30 分～
場所：札幌 YMCA101 教室
内容：アジアユースコンボケーション報告
（卓話者・卓話タイトル・内容を再確認）

3. 2025 年 10 月～の例会卓話について（案）

10 月は、ユースボランティアフォーラムに参加した方をお願いする。

4. チャリティーランについて

- 日時：9 月 23 日（火）9:00-12:00
- 場所：真駒内公園
- ワイズからの参加者の確認
- 部補助 1 チーム・クラブ補助 1 チーム予定としてユースリーダー会・汝羊寮を想定。
- 飲み物コーナーを設ける
- メンバーの関係者への参加チーム勧誘
9 月 16 日締切 ワイズドットコムに投稿する

5. 札幌ワイズ創立 70 周年行事について

【新着情報のみ】

1) 広報・告知について

- ワイズドットコムには既に案内用の 70 周年チラシとともに作成メール配信済み。
- IBC 台中クラブへの声掛け
- 京都パレスクラブから 4 名参加いただく予定。
- 十勝クラブ・北見クラブには 8/23（土）の北海道部評議会の場で、各クラブ会長に参加いただけるメンバーの取りまとめを要請済み。
- 再度ワイズドットコムを通じて連絡する予定。
- スライド作成は 8 月中にはチェック結果をメンバーに共有
- プリンズホテル宿泊押さえ、2 次会手配、祝賀会演奏用ピアノ手配について確認する。
- 記念品試作品、永年表彰記念品の相談・依頼
- 記念行事当日に向けた詳細準備・役割分担について改めて協議必要。

6. ウェル夏祭り報告

- 日時：8 月 24 日（日）10:00-13:00 札幌 YMCA
- ワイズはかき氷（100 円）を出店。柴田メン・メネット、伏木、秋葉が対応。108 杯販売
- 縁日コーナー、親子フットサル、ダンス発表、よさこいソーランなどで盛況のうちに終了

7. チャリティーピアノコンサートについて

- 日時：2025 年 12 月 11 日（木） 18:00 開場
18:30 開演
- 会場：札幌市民交流センター SCARTS コート（Hitaru）
- 札幌ワイズメンズクラブ 70 周年記念チャリティーコンサートと銘打って開催。
- 市教委申請のため、チャリティー内容について検討し秋葉から安田へ連絡
- チラシ・チケットの作成は安田さん担当。記念式典に合わせて作成し、式典でアピールする予定。
- 今後の事務会にてコンサート実施に向けた準備内容、担当メンバー役割などについて協議。

8. 東日本区ワイズオリジナルカレンダーの注文を確認

1 冊 1,100 円

【注文数】確定数 15 部

⇒8/30 までに東日本区へ連絡。

9. その他活動関連

十勝いもほり 9 月 28 日（日）日帰り
清水町中村農園

参加予定：小野・秋葉

汝羊寮生・ユースリーダーに声掛けの予定

